

## 令和元年度第1回亀岡市総合計画審議会 議事要旨録

日 時：令和元年5月31日（金） 10時00分～10時50分

場 所：亀岡市役所 市民ホール

出席者：前田正史会長、大石慶明副会長、青山公三委員、上田善郎委員、尾崎まこと委員、川勝啓史委員、坂本信雄委員、渋谷幸雄委員、鈴木康久委員、高田己喜男委員、多胡麻衣委員、矢田勲委員、山口みどり委員

欠席者：今里佳奈子委員、楠善夫委員、手塚恵子委員、内藤登世一委員、野中篤委員、原田禎夫委員、三宅基子委員

議 題：1 開会

2 委嘱状の交付

3 市長挨拶

4 会長選出

5 副会長指名

6 諮問

7 総合計画審議会策定部会委員の指名について

8 議事

(1) 第4次亀岡市総合計画に係る令和元年度の取組予定について

(2) 第5次亀岡市総合計画の策定について

(3) その他

9 閉会

### 1 開会

- ・定数を満たし、本会議は成立。
- ・会議は公開とする。

### 2 委嘱状の交付

- ・新たに就任いただいた委員について、市長から委嘱状を交付。

### 3 市長挨拶

### 4 会長選出

#### 事務局

- ・会長の選出を行う。
- ・亀岡市総合計画審議会条例第4条第2項に基づき、会長は委員の互選によって選出する。
- ・お諮りする。

#### A委員

- ・前任の篠原会長の交代により、京都先端科学大学の学長に来ていただいているので、学長を推したいと考える。

各委員拍手承認

## 会長 あいさつ

- ・市長からも紹介があったように、今年度の4月1日から名称が京都先端科学大学となった。来年には工学部が設置される。亀岡市からの撤退はまったくくない話であり、亀岡市ではバイオ・環境の研究拠点として位置付いている。よろしく願います。

## 5 副会長指名

### 事務局

- ・会長補佐の副会長については、亀岡市総合計画審議会条例第4条第4項に基づき、会長に委嘱いただく。

### 会長

- ・それでは、亀岡市自治会連合会のB委員にお願いしたいと思う。

## 副会長 あいさつ

- ・身に余る大役をおおせつかったと思っている。みなさまのご支援、ご協力をお願いする。
- ・また、委員みなさまの英知を結集するとともに、知恵を絞っていききたいと思う。ご指導ご鞭撻を願う。

## 6 諮問

- ・市長から、第5次亀岡市総合計画の策定にあたって、基本構想及び基本計画について、審議会へ諮問。

―市長から会長へ諮問書を手渡し―

## 7 総合計画審議会策定部会委員の指名について

- ・策定部会委員の指名については、亀岡市総合計画審議会条例第6条第2項に基づき、会長が指名する。
- ・進行管理部会に属していない委員が選出される。

青山委員、大石委員、川勝委員、楠委員、坂本委員、鈴木委員、高田委員、多胡委員、内藤委員、三宅委員、山口委員を選出

- ・正副部会長については策定部会開催時に選出いただく。

## 8 議事

- (1) 第4次亀岡市総合計画に係る令和元年度の取組予定について
- (2) 第5次亀岡市総合計画の策定について

―資料に基づき事務局説明―

### 会長

- ・意見や質問等はないか。

### C委員

- ・資料内の《市民の参画と協働による取り組み》にある「⑤SNSを活用した市民意見募集」について、具体的な手法を教えてください。

### 事務局

- ・手法は確定していないが、後期基本計画策定時に実施したWEBアンケートと同様に実施していく方向である。

#### C委員

- ・後期基本計画策定時に実施したアンケートはサンプル数がそんなに多くなかったと思うがどうか。

#### 事務局

- ・前はサンプル数が100程度だったが、今回はより多く回収できるよう実施したいと考えている。

#### C委員

- ・市民アンケートの内容とはどのように関連しているか。

#### 事務局

- ・基本的には市民アンケート本体そのものを活用したいと考えているが、その一方で、WEBアンケートにおいては設問が多いと回答が得られないことが多い。そのため、設問数を絞り込んで実施することも検討している。

#### 会長

- ・良く検討いただければと思う。

#### D委員

- ・計画期間に関してはどのようにお考えか。10年ではAIの台頭などがある中、時代変化に対応するのは難しいと考える。3年や5年が適当ではないか。
- ・また、長期の構想であれば20～30年のような長期的な方向もあるように思うが。

#### 事務局

- ・基本構想については10年で考えていきたいという方針を持っている。
- ・また、基本計画については、前回の審議会でも意見をいただいたところであるが、第4次の基本計画は5年ごととしていた。市としては10年計画にして、進行管理を進める中で、その都度見直しや変更ができればと考えている。

#### D委員

- ・基本計画の計画期間が10年、というのが長いように思う。3～5年が適切なように思っている。

#### 事務局

- ・基本計画が10年ということについては市の方針であり、確定というものではない。
- ・それぞれメリット・デメリットがある。ご意見をいただく中で期間も決めていきたいと考える。

#### 会長

- ・それは策定部会で議論するようなものか。

#### 事務局

- ・そうである。

#### E委員

- ・できれば、子どもが大学に行っても帰ってきたいと思えるような、親が「亀岡は良いから、亀岡に戻っておいでよ」と、亀岡の魅力を伝えられるようなまちになれば良いと思う。

- ・私は舞鶴出身でなかなか帰れなかったが、亀岡は京都という大都市圏が近く、ポテンシャルのあるまちである。
- ・アンケートでは住み続けたいかというような聞き方がされているが、「子どもたちが帰ってきたい亀岡だと思いますか」や、「大学を出てから亀岡に帰ってきたいですか」、「定年退職後に亀岡に帰ってきたいですか」などの設問もあるように思う。そういったものが実現できるようなまちづくりを進められれば良いと思う。

#### D委員

- ・いろいろなアンケートを計画に反映していこうという方向は分かるが、市民のみなさんと多く接している職員のみなさんはどのように思っているのか。
- ・庁内組織としての位置付けはあるかと思うが、亀岡市の一員として、市役所職員の意見を吸い上げるような仕組みがあるのかどうかについてうかがいたい。

#### 事務局

- ・組織的な話としては、総合計画策定推進委員会を設けている。委員会は部長が委員であるが、それぞれの部署や課の意見を踏まえての議論となるので、それぞれの意見を吸い上げたかたちとなると考えている。誰かだけの意見でつくっていくものではない。

#### 会長

- ・匿名でも良いから庁内でも SNS を活用するなどすればどうか。若い職員の意見も集められるように思う。

#### 事務局

- ・計画を作っている意識を、幅広い職員が持てるようにしたいと思う。

### (3) その他

#### ○シンボルプロジェクトについて報告

##### 事務局

- ・第4次亀岡市総合計画に位置付いている「目指す都市像」の実現に向けて、市民・団体・行政が同じスタートラインに立って取り組む市民協働型のプロジェクトである。
- ・後期基本計画においては、「京都スタジアムと京都・亀岡保津川公園を生かしたまちづくり」をテーマとしている。
- ・個人や団体、職員に向けてメンバーを募集したところ多数の応募があり、昨年6月のキックオフ会議を皮切りに10回の企画会議を重ね、今年度以降の事業実施に向けて取り組んできた。
- ・今年度からは3つの企画に絞り、各グループに活動補助金をお渡しし、事業に取り組んでいただく。

##### 会長

- ・事務局から説明があったが質問はないか。
- ・ないようであれば私から。このプロジェクトに関する補助金の額はどのようになっているか。

##### 事務局

- ・1つのグループにつき、25万円の予算を確保している。

## 9 閉会

##### 事務局

- ・次回の審議会は、進行管理部会を6月頃予定している。

- ・策定部会については、市民会議の提言書や市民アンケートの結果を踏まえて秋頃に開催を予定している。
- ・改めて、後日案内させていただく。よろしく願います。

以上